

## 東京都写真美術館寄贈の佐久間兵衛写真資料および関係資料について

藤村里美（東京都写真美術館 学芸員）

高瀬八一（東京都写真美術館 インターン）

# 東京都写真美術館寄贈の佐久間兵衛写真資料および関係資料について

## 1 はじめに

佐久間兵衛（1907-1982）の写真作品・資料および関係資料は、2005年に兵衛の次男・耕二氏により東京都写真美術館に寄贈されたものである。

佐久間兵衛の作品・資料は、1982年の逝去の後、長男・盛義氏が管理されていたが、盛義氏のご逝去のあと、ご自宅にて兵衛の妻であるハナ夫人が管理されていた。しかしハナ夫人がご高齢であることから、ハナ夫人の甥である吉野義朗氏のご進言もあり、当館への寄贈となった。（吉野氏からは2004年に氏が所蔵されていた佐久間兵衛プロムオイル作品を2点ご寄贈いただいている。）

佐久間兵衛については、主に雑誌『光画』に発表された作品を通じてその存在は知られていたが、長くそのオリジナルプリントの所在は不明であった。寄贈されたプリント作品の中には、『光画』に発表されたもののほか、中山岩太らが結成した関西の有力アマチュア写真グループである芦屋カメラクラブが主催していた「アシヤ写真サロン」に出品したことを示す札が裏面に貼られたものなど、当時の活躍を裏付ける貴重な作品が多く含まれていた。

## 2 寄贈資料の調査

佐久間兵衛の作品・資料は2007年2月に開催した「新規コレクション展Vol.1 ようこそ写真美術館へ」で一部公開した。この時までには写真作品198点、雑誌・書籍77点は調査、整理を終えていたが、資料の多くについては未整理であった。資料を兵衛の父・盛亨もりみちに関係するものと兵衛の勤務先であった野々宮写真館に関係するものとの大きく2つのグループに分けることができた。

佐久間家は代々、岡山津山藩城代家老を務め、越前松平家の譜代の家柄である。佐久間家は、漢方薬を専門とする薬屋（佐久間薬善堂薬房）を津山で営んでいた。正確な時期は確定できないが、大正期に兵衛を含む子どもたちの教育のために、家族で東京に転居している。その後盛亨は大蔵省に勤務していた。兵衛は中学を卒業後、東京写真専門学校（現・東京工芸大学）に進学している。写真資料番号1（写真1）は裏面に「明治二三年三月二日撮ス 佐久間善太郎」とあるが、善太郎とは父・盛亨の幼名であり、氏は1872（明治5）年生まれであることから、18歳頃に撮影したものと推定できる。どこかの写真館で写真師の指導の下に撮影したものであろう。そのほか、父・盛亨に関係する資料に含まれる写真には、津山の写真館で撮影されたものや都内の写真館で撮影されたものが混在している。都内のものは盛亨が専修学校（現・専修大学）に在学中に知人より譲られたりして入手されたものであろう。

上記、第2のグループに仕分けした資料としては、兵衛が勤務していた野々宮写真館の関係資料、母校である東京写真専門学校の同窓会パンフレットなどがある。野々宮関係としては1934（昭和9）年に発



写真1 「閉谷愛友會員」記念写真

行された冊子「NONOMIYA（野々宮）」や野々宮写真館の設計図などがあった。他に特筆すべきものとしては雑誌『FRONT』（写真2）、『光画』がある。『光画』は兵衛の雇い主である野島康三が中心となって発刊した雑誌であり、同人ではなかったが、毎号のように兵衛の作品も掲載されている（\*1）。『FRONT』は特に兵衛が写真を提供したり、関わりをもったといった事実は見出せないが、『FRONT』の発行元の東方社が1944年より、野々宮ビル（\*2）に転居している。野々宮写真館と東方社に何らかの関係があり、入手されたのだと推察できる。（雑誌は当館の図書室の所管とすべきところであるが、『FRONT』、『光画』などのオリジナルは大変貴重なので、写真資料と同等の扱いとすることになった）。

その他にも多くの雑誌が寄贈され、上記以外は当館図書室の所管となっているが、ページが一部欠損しているものがある。これらはある時期に長男・盛義氏が雑誌に掲載された兵衛の作品を切り取り、スクラップを作成したことによる（このスクラップアルバムは佐久間家に残した）。

#### [注]

- \*1 『光画』第2巻第3号の表紙写真（写真3）は佐久間盛雄名での発表となっているが、これは以下のことから佐久間兵衛の別名であることが判明した。2005年に当館に収蔵された兵衛作品（収蔵番号10106412）に同じイメージの作品があること、また佐久間家は何代かおきに長男（兵衛は長男）は「盛」字を入れた名前を名乗ることになっていることである。なお兵衛という名も先祖から受け継がれた名前の一つである。
- \*2 野々宮ビルは1936年に東京・九段坂下に建設された野島康三所有のビル。土浦亀城設計で地下1階地上8階建。1階と中2階が「写真 野々宮」、3階以上の階は高級賃貸アパートの「野々宮アパートメント」となっていた。佐久間兵衛は新婚の一時期にこのアパートメントに居住していた。

#### [凡例]

- 1 写真資料は、番号、資料名、作家名、写真館、制作年、月日、技法、寸法、備考1、備考2の順に記載してある。写真以外の資料リストの項目は番号、資料名、制作年、形式、寸法、備考の順とした。
- 2 掲載は基本的には制作年代順としたが、内容から父・盛亨関係であると推察できるものを前半に、兵衛関係のものを後にした。
- 3 資料名は写真についてはほとんど不明であるが、表や裏に記載されている言葉・文字を手掛かりとしながら、括弧内に作品を特定しやすいように補助的な言葉を付け加えた。



写真2 雑誌『FRONT』1-2号

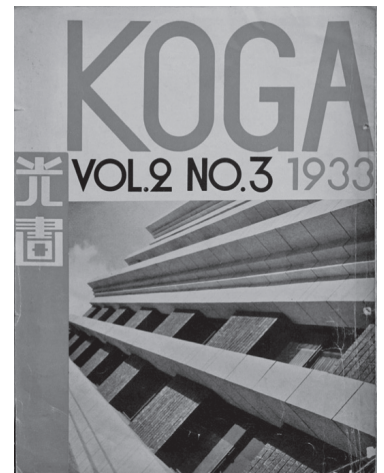


写真3 雑誌『光画』第2巻第3号の表紙写真

- 4 技法の表記で「gsp」とあるものは「ゼラチン・シルバー・プリント」の略である。
- 5 寸法は台紙を含む大きさである。また作品の形状により、表紙のある台紙を開いた状態のものを「開封時」、化粧裁ちがされている場合は「寸法（イメージ）」と区別して記載している。
- 6 備考1は台紙の形式を記入している。
- 7 備考2は台紙に記載されている情報を転記した。
- 8 リストの作成に関しては、高瀬八一が実際の資料のデータ採取を行い、藤村里美と両名でそれを精査した。解説と略年譜は藤村里美が執筆した。

#### [略年表]

1907（明治40）年

7月2日、佐久間<sup>もりみち</sup>盛亨の3男4女の長男として岡山県津山町（現・津山市）に生まれる。

1930（昭和5）年（23歳）

東京写真専門学校（現・東京工芸大）卒業

吉野ハナと結婚（仲人は野島康三夫妻、ハナ夫人は野島家でお手伝いをしていた。）

「或る日の波止場」（東京写真学会第1回展作品、『アサヒカメラ』11月号）

1931（昭和6）年（24歳）

「線路のある風景」（『写真月報』12月号）

1932（昭和7）年（25歳）

「或る日の隅田河岸」（『写真月報』1月号）

『光画』が発刊

「都会風景」（『光画』第1巻第1号）

「汽船」（『光画』第1巻第2号）

「……」（『光画』第1巻第4号）

1933（昭和8）年（26歳）

「無題」（『光画』第2巻第1号）

「……」（『光画』第2巻第2号）

表紙写真、「……」（『光画』第2巻第3号）

「……」（『光画』第2巻第4号）

「犬」（『光画』第2巻第11号）

1934（昭和9）年（27歳）

9月26日、長男・盛義生まれる。

1935（昭和10）年（28歳）

12月10日、長女・泰子生まれる。

1936（昭和11）年（29歳）

野々宮アパートメントに転居。

「無題」（『フォトタイムス』6月号）

- 「小児」(『カメラアート』6月号)
- 1937(昭和12)年(30歳)
- 「ポートレート」(『アサヒカメラ』5月号)
- 1938(昭和13)年(31歳)
- 「屋上にて」(『アサヒカメラ』4増刊号)
- エッセイ「第39講 子供を上手に写すにはどうするか」(『アサヒカメラ』8月号〔参考図版3点〕)
- 1939(昭和14)年(32歳)
- 3月12日、次女・郁子生まれる。
- 1940(昭和15)年(33歳)
- エッセイ「明朗な人物撮影—パンクロを使用の注意」(『アサヒカメラ』3月号〔参考図版1点〕)
- 1942(昭和17)年(35歳)
- 「早春の野外にて」(『アサヒカメラ』4月号)
- 1943(昭和18)年(36歳)
- 1月2日、次男・耕二生まれる。
- 応召、中国戦線に出征。
- 1944(昭和19)年(37歳)
- 10月26日、三女・良子生まれる。
- 1945(昭和20)年(38歳)
- このころ戦地より帰還。
- 1946(昭和21)年(39歳)
- 東京写真専門学校(現・東京工芸大)の助教授として教鞭をとる。  
(～1948年まで)
- 1954(昭和29)年(47歳)
- アジア航空測量(現・アジア航測)の設立に参加。
- 1982(昭和57)年
- 1月2日死去。享年74。
- 2004(平成13)年
- 2月15日 長男・盛義死去

\*略年譜は兵衛の次男・耕二氏、次女・三田郁子氏、甥・吉野義朗氏からの聞き取り調査をもとに作成し、渋谷区立松濤美術館編『野島康三 作品と資料』(2009年)を参考にした。

佐久間兵衛 関連資料(写真資料)

No.	資料名	作家名	写真館	製作年	月日	技法	寸法	寸法 (開封時)	寸法 (イメージ)	備考I	備考II
1	題不詳(男性15名集合写真)	佐久間善太郎	不詳	1890年	3月21日	鶏卵紙	157×204	-	107×145	台紙貼り	人物上部に「関谷豊友管員」の看板。裏面に筆で「福示、神田、直示、児嶋、内田、金子、高山、小林、和田、佐久間、伊東、棟円、前田、真原」、「明治二三年三月二一日寫之撮ス 佐久間善太郎」の記入あり。
2	題不詳(男性44名集合写真)	不詳	小川寫真	1894年	7月15日	gsp	352×428	-	218×269	台紙貼り	台紙真下に「PHOTOGRAPHER K. OGAWA 東京市神田區三寄町三丁目壱番地小川寫真製版所本店」の印刷あり。裏面に筆で「于時明治二十七年七月十五日撮寫之」の記入あり。
3	題不詳(剣道着姿29名集合写真)	田中武	不詳	1894年	3月某日	gsp	350×428	-	213×272	台紙貼り	台紙真下に「寫真士 田中武 東京芝區神田社内 T. TANAKA. PHOTOGRAPHER SHIBASHINMEI SHANAI TOKIO JAPAN」の印刷あり。裏面に筆で「于時明治二十七年三月某日撮寫之」の記入あり。
4	題不詳(男性3名)	氣質秋畝	玉翠館	1895年	7月14日	gsp	128×82	-	114×78	台紙貼り	台紙真下に写真館マーク「S. KIGA 玉翠館 東京御茶之水橋角」の刻印あり。裏面に筆で「明治二十八年七月十四日於専修学校卒業式之日為紀念撮影 鈴木顯蔵 ■上茂平 神田騰一 贈 佐久間盛亨君」の記入あり。
5	題不詳(蝶ネクタイ男性)	不詳	神田騰一	1900年	不詳	gsp	165×105	-	140×100	台紙貼り	台紙下に「K. Ogawa Tokio japan」の刻印あり。裏面に筆で「明治三三年三月十一日撮影 神田騰一贈呈 佐久間柳浪兄」の記入あり。
6	題不詳(男性13名集合写真)	不詳	不詳	1900年	不詳	gsp	184×240	-	102×143	台紙貼り	台紙上に「ARTIST PHOTOGRAPHER」、下に「MADE IN NIPPON」の印刷あり。「明治三三年一月一日 鶴山城下 田口写真館於 友人高山宇一郎 君為に撮影ス」の記入あり。
7	題不詳(男性41名集合写真)	不詳	河野寫真館	1905年	2月20日	gsp	330×395	-	210×265	台紙貼り	裏面に筆で「明治三十八年二月二十日撮影 苦田郡會議員 立石岐 服部謙吉 佃窓 井上彦次郎 池上正澄 山本慶次郎 岡田茂太郎 山海徳道 石原良平 伊丹健次郎」の記入あり。写真館スタンプ「河野寫真館 津山三丁目 M. Kono.」の記入あり。
8	題不詳(小学生集合写真)	不詳	田口寫真館	1905年	不詳	gsp	180×240	-	105×141	台紙貼り	裏面に筆で「明治三十八年三月廿五日 卒業紀念為撮影 渡邊先生 武本先生 芝永校長 山本先生 岡本先生」の記入あり。写真館スタンプ「津山道廻し 田口寫真館 Mitsuki.」の記入あり。
9	題不詳(男性28名集合写真)	不詳	万袋寫真館	1906年	5月28日	gsp	180×240	-	102×142	台紙貼り	台紙右下に「美作津山町山下 万袋寫真館 Mandai」のスタンプあり。裏面に氏名の記入あり。
10	題不詳(家族写真)	不詳	万袋寫真館	1907年	9月10日	gsp	210×270	-	113×153	台紙貼り	台紙右下に「Mandai 津山町山下 万袋寫真館」の刻印あり。裏面に筆で「明治四十年九月十日於津山椿高下為紀念撮影 佐久間田鶴八十年 佐久間真 五十八年 佐久間盛亨 三十六年 佐久間兵衛 生後七十三日 佐久間美知乃 二十二年」、ほか被写体それぞれ名前とおもわれるものの記入あり。

11	題不詳(男性40名集合写真)	不詳	不詳	不詳	1907年	2月14日	gsp	323×393	-	203×270	台紙貼り	裏面に筆で「明治四十二年二月二十四日 菅田郡會議員及番外委員列席終菅田郡役一昨場影ス」の記入あり。 台紙右下に「R. Maruki TOKIO, JAPAN.」の刻印あり。裏面に作家マーク「寫眞師 丸木利陽 東京芝新シ橋角 國會議事堂前」の印刷あり。最下行「c.c. Mfg co S.F」横にボールペンで「5g085」と記入あり。他にボールペンで「於東京日比谷公園開催 (■■■■■■■■■■) 元年六月廿日」日本赤十字社第■■■社員總會列席紀念 明治四拾壹年六月 式日■■■ 内田■■■ 内田寛」の記入あり。
12	題不詳(男性2名)	丸木利陽	丸木利陽	丸木写真館	1908年	6月1日	gsp	210×150	-	140×96	台紙貼り	台紙真下に写真館マーク「佐々木 生花寫眞專門 本郷區新花町」の印刷あり。裏に筆で「大正七年四月七日 記念撮影 美蕙園香披 日笠■■■の棺」の記入あり。
13	題不詳(生花)	不詳	不詳	佐々木	1918年	4月7日	gsp	213×140	-	138×94	台紙貼り	台紙真下に写真館名「S. Katayama HIROSHIMA」の印刷。裏面に「S. Katayama 電話四百番 廣嶋市守島本町 元安橋西 片山精三 廣嶋市大手町二丁目 片山支店陽明軒」の印刷あり。
14	題不詳(軍服男性)	片山精三	片山支店 陽明軒	不詳	不詳	不詳	gsp	18×123	-	140×95	台紙貼り	台紙真下に写真館名「Photographer 鳥取市川端三丁目 豊田東洋館」の印刷あり。裏面に筆で「明治三六年■■■月■■■撮影 佐久間兄」の記入あり。
15	題不詳(軍服帽子有り男性)	不詳	不詳	豊田東洋館	1903年	不詳	gsp	120×76	-	90×59	台紙貼り	台紙真下に「S. Kakehi. TAKAMATHU」の刻印あり。裏面中央に写真館マーク「Photographer 高松市 兵庫町 寛之友館」の印刷あり。裏面に筆で「呈 佐久間盛亨様 獲数十六羽 ■次」の記入あり。
16	題不詳(男性、猟銃と獲物)	不詳	不詳	寛之友館	不詳	不詳	gsp	175×119	-	138×100	台紙貼り	写真縦に対し横に4本の織り込んだ折れ目あり。
17	題不詳(着物女性)	不詳	不詳	不詳	不詳	不詳	gsp	430×283	-	425×278	天地左右に 約2.5ミリの 余白あり	表紙カバーに写真館マークの印刷、右側に筆で「昭和五年十月五日 十七日 結婚記念撮影」の記入あり。イメー ジ内左下に「NONOMIYA KUDAN, TOKYO」の刻印あり。台紙左下に「NONOMIYA KUDAN, TOKYO」の印刷あり。台紙右下に「野々宮寫眞館 東京 九段」の印刷あり。
18	題不詳(新郎新婦結婚撮影)	不詳	不詳	野々宮写真館	1930年	10月5 日? 17 日?	gsp	265×180	265×457	203×140	折りたたみ 式台紙	表紙カバーに「PHOTO ISETAN」の表記あり。中ページ左に直筆で「小山田靖生(満四ヶ月) 昭和十四年十月二十二日生」の記入あり。中ページ右に「皇紀二千六百率 記念」の印刷あり。台紙右下に「伊勢丹写真部 東京・新宿」の印刷あり。
19	題不詳(小山田靖生 満4ヶ月)	不詳	不詳	伊勢丹写真部	1939年	不詳	gsp	250×160	250× 320	135×92	折りたたみ 式台紙	表紙カバー左上にマークあり、右下に「nonomiya kudan tokyo」の印刷あり。結婚記念集合写真。台紙左下に「野々宮寫眞館 東京 九段」の印刷あり。イメー ジ隣ページに筆で「昭和十五年三月九日記念撮影」の記入あり。
20	題不詳(集合写真)	不詳	不詳	野々宮写真館	1940年	3月9日	gsp	280×340	280×683	205×265	折りたたみ 式台紙	

21	題不詳(少年)	不詳	野々宮写真館	不詳	不詳	不詳	gsp	-	-	215×266	化粧裁ち	正装の少年肖像写真。イメージ右下に「NONOMIYA KUDAN, TOKYO.」の刻印あり。
22	題不詳(結婚記念集合写真)	不詳	野々宮写真館	不詳	不詳	不詳	gsp	280×340	280×675	213×268	折りたたみ式台紙	イメージ左下に「NONOMIYA KUDAN, TOKYO.」の刻印あり。台紙左下に「NONOMIYA KUDAN, TOKYO.」の印刷あり。台紙右下に「野々宮写真館 東京 九段」の印刷あり。
23	題不詳(幼児)	不詳	野々宮写真館	不詳	不詳	不詳	gsp	247×150	150×356	145×96	折りたたみ式台紙	表紙カバーに写真館マークの印刷あり。イメージ左下に「NONOMIYA KUDAN, TOKYO.」の刻印あり。台紙左下に「NONOMIYA KUDAN, TOKYO.」の印刷あり。台紙右下に「野々宮写真館 東京 九段」の印刷あり。
24	題不詳(女性着物)	不詳	野々宮写真館	不詳	不詳	不詳	gsp	140×100	-	137×95	天地左右に約2ミリの余白あり	女性肖像写真。写真右下に「NONOMIYA KUDAN, TOKYO.」の刻印あり。
25	題不詳(着物女性)	不詳	森川写真館	不詳	不詳	不詳	gsp	246×163	245×322	135×88	折りたたみ式台紙	イメージ右下に「A. MORIKAWA TOKYO.」の刻印あり。裏表紙の右下に「京橋區横町三ノ五 電話京橋(56) 三二八五番 四二七八番 振替東京 五三二六七番 森川写真館」の写真館刻印あり。刻印下に鉛筆で「A 771 五」の記入あり。
26	題不詳(男性集合写真)	不詳	神保寫真館	不詳	不詳	不詳	gsp	199×241	-	107×154	台紙貼り	イメージ左下に30mm程の破れ、約60×15mmの欠損部分あり。裏面右下に「俣山内山下 神保寫真館 & Jimbo」のスタンプあり。裏面に筆で長文の記入あり。
27	題不詳(着物男性)	不詳	不詳	不詳	不詳	不詳	gsp	-	-	271×202	化粧裁ち	着物左襟元に黒点の汚れあり。
28	題不詳(着物男性)	不詳	不詳	不詳	不詳	不詳	gsp	-	-	271×202	化粧裁ち	27と同じイメージ。

寸法 (mm)



NO.	資料名	制作年	形式	寸法	備考
1	FRONT1-2号	1942年	雑誌	423×293	A3判 海軍号
2	FRONT 3-4号	1942年	雑誌	423×297	A3判 陸軍号
3	光画 第1巻第1	1932年	雑誌	280×217	
4	NONOMIYA (野々宮) NO.1	1934年	冊子	186×127	昭和9年1月1日発行
5	NONOMIYA (野々宮) NO.2	1934年	冊子	147×130	昭和9年4月20日発行
6	NONOMIYA (野々宮) NO.3	1934年	冊子	152×148	昭和9年11月10日発行
7	ひまはり	1928年	冊子	220×151	東京写真専門学校校友会発行
8	向日葵	1931年	冊子	220×151	東京写真専門学校校友会発行
9	himawari VOL13 NO.2	1934年	冊子	223×151	東京写真専門学校校友会発行
10	東京写真学会 パンフレット 3号	1930年	冊子	234×160	
11	東京写真学会 パンフレット 4号	1930年	冊子	234×160	
12	東京写真学会 パンフレット 5号	1930年	冊子	234×160	
13	東京写真学会 パンフレット 11号	1932年	冊子	226×153	
14	東京写真学会 パンフレット 18号	1934年	冊子	226×153	
15	東京写真学会 パンフレット 21号	1935年	冊子	225×156	
16	東京写真学会 パンフレット 27号	1940年	冊子	225×156	
17	東京写真学会 パンフレット 28号	1941年	冊子	211×149	
18	東京写真家集団春季展覧会	1936年	冊子	182×130	展覧会会期は4月14-18日
19	野々宮写真館設計図	1930年		391×535	青図

寸法 (mm)